

活動テーマ

観光・地域資源の活用と支援並びに保存活動

飯能市 西吾野地区 獨協大学

1 活動目的

平成 29 年度より飯能市の西吾野地区で活動を開始した。1 年目の活動では、西吾野地区を知ることであり、さまざまな情報収集を行うことを目的とした。そのうえで町の魅力を発見し、地域活性化の為には地元の方との繋がりは必要不可欠であるため交流を重ね、互いに意見を出し合う良好な関係構築の方向を模索することを目的とした。

2 活動地域の現状

地域の現状は、西川材に代表される豊かな森林と澄んだ空気の良い所である。現地調査や打ち合わせなど行う過程で、地元の方との交流も図ったところ、この地域は住民同士の繋がりが深いことも特徴としてあげられる。地域衰退に伴う小学校の統廃合、少子・高齢化は待ったなしの状況である。

3 活動内容

活動日	内容	参加人数
6 月 17 日	飯能市商店街訪問、地域活動訪問、地域活性に関する聞き取り調査。またカヌー工房訪問、打合せ	5 名
8 月 27 日	地域サポーターと共に西吾野の町歩き・打合せ	28 名
10 月 1 日	西吾野の奥武蔵休暇村にて地域サポーターと打合せ	5 名
10 月 29 日	西吾野地区の自治会館にて打合せ	31 名
11 月 12、18、19 日	「お散歩マーケット」に参加・ボランティア	48 名
11 月 25 日	猿害対策「ゆず狩り」・打合せ	29 名
12 月 16、17 日	コース測量、コース歩き、打合せ	25 名
1 月 14 日	コース測量、コース歩き、打合せ	6 名
1 月 20 日	吾野原木センター訪問・打合せ	5 名
2 月 4 日	コース測量、コース歩き、打合せ	4 名
2 月 24 日	コース測量、コース歩き、打合せ	8 名
その他の活動		
12 月 23 日	ワークショップに参加・ボランティア	4 名

《6 月 17 日》



飯能市に初めて足を運び、地域支援活動をしている皆さんとの交流を積極的に行った。とくに福祉施設の店舗を運営するニコニコハウスの皆さんが行っている地域活動や、地域活性化の為の活動について聞いた。またカヌー工房も訪れた。

《8月27日》

地域サポーターと共に西吾野の町歩きを行った。広範囲であるためまずは地域の半分程を歩いた。森林豊かで地域住民の繋がりが良く、親しみやすい町であった。引き続き町歩きを行い、まだ知らない西吾野のことを探索したい。

《10月1日》

6月に訪れた地域の代表から再度お話を伺った。私達が今後行う活動について意見をいただいた。また吾野地区にある奥武蔵休暇村にてまちづくり委員会の皆さんと打ち合わせを行った。

《10月29日》

西吾野地区の自治会館にて地元の方と打ち合わせを行った。地元の方との意見交換を行い、今後の方向性を確認することが出来た。

《11月12、18、19日》

飯能市の観光イベントである飯能市「お散歩マーケット」の準備を手伝った。昨年までには無かった仮設トイレもコースの中に設置することが出来た。「お散歩マーケット」に参加し、交通整備や受付等の手伝いをした。このイベントは事前準備から参加し地元の方との交流を深めることが出来た。



《11月25日》

地元の方と共に「ゆず狩り」を行った。これは猿害防止のための活動の一環で、この地区は「ゆず」が豊富であることから、ゆず狩りイベントを企画し、試行としてこの日は学生のみでゆず狩りをし、ゆずの活用

法を考えた。

《12月16、17日》

コースの測量を開始し、ハイキングも行った。地域サポーターの方に器具の使い方を教わり距離や高低差を測定した。測定した距離や高低差をもとに図面に起こして簡単なマップを作成した。

《12月23日》(その他の活動)

飯能市で開催するワークショップに参加し、木材や森林に関するお話を聞き、知識を深め、木の素晴らしさを知ることが出来た。

《1月14日、2月4、24日》

コースの測量を引き続き行い、延べ4回にわたり、ほぼ全員でハイキングコースを歩いた。実際にコースを歩き勾配が急な所や危険な場所を探し、コース整備に向けて改善すべき所を見つけることの確認も行った。

《1月20日》

吾野原木センターを訪問し、材木店にも行き原木からの製材課程を見せていただいた。また木製建具を製造する会社を経営し、地域活性や地産地消の為の活動をしている株式会社 SAKAMOTO の代表から木に関するお話をいただいた。木と触れ合っていく中で次第に木の魅力に惹かれていった。木目の美しさや質感、その香りから人の心を豊かにしてくれる西川材の素晴らしさを都会の人々やその他の様々な人々に伝え、西川材をPRしていきたいと感じた。また多くの関係者との交流を深めることも出来た。地域の方との繋がりは今後も大切にしていきたい。



4 成果

地元の方と共に町歩きや山歩きを行い、イベントにも参加し、現地調査や打ち合わせなど地元の方との交流を図った。その中でハイキングコースやトレイルランニングコースのコースマップを開発することにつながり、そのコース整備を行った。

また、猿害防止活動の一環として「ゆず狩り」を企画して実施した。猿害対策は地元のニーズがあり、大変喜ばれた。さらに、木と触れ合っていく中で次第に木の魅力に惹

かれていった。木目の美しさや質感、その香りから人の心を豊かにしてくれる西川材の素晴らしさを知ることができた。また多くの関係者との交流を深めることで、地域の方との繋がりの大切さを感じたことが大きな成果であるといえよう。

5 課題

小学校の統廃合、森林維持における後継者問題、少子化・高齢化の状況は待ったなしの状態である。地域活性化施策が急がれる状況にある。

6 次年度以降の計画

地域の皆さんと共に森林の中でのハイキングコースやトレイルランニングコースを考え、コースマップを暫定的ではあるが作成した。今後は、それを使ったイベントを開催することである。マップ完成は、そのコース整備を行う上でも必要であり、今後のイベント開催において西吾野地区を宣伝するために必要である。

また、猿害防止活動の一環とした「ゆず狩り」は、ハイキングなどと連携させることで地元の協力を得ながら開催することが可能ではないかと考える。さらに、木と触れ合っていく中で次第に木の魅力に惹かれていった。木目の美しさや質感、その香りから人の心を豊かにしてくれる西川材の素晴らしさについて、様々なイベントを通して宣伝できるのではないかと考えているところである。